



令和5年度のスタートにあたって

校長 荻原 隆行

初めまして。今年度、香取武雄前校長の後を引き継ぎ、南大沢中学校の第12代校長となりました荻原隆行（おぎはらたかゆき）と申します。よく萩原（はぎわら）と間違えられます。萩と萩は違う漢字なので覚えていただくとありがたいです。国分寺市立第五中学校副校長から昇任して着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

南大沢中学校は、ピーク時には700名ほどの生徒がいる大規模校でしたが、今年度、新入生35名を迎え、現在生徒数162名、5学級の小規模校となっています。日本全国で少子化が進む中、学校の小規模化は致し方ないことですから、小規模校の良さをフル発揮した教育活動を進めていくことが重要だと考えています。八王子市が掲げる「あなたのみちを、あるけるまち」の理念のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にして、その子の力を最大限伸ばし、卒業した後に自信をもって社会に出ていける生徒、「あなたのみちを、あるける生徒」を育てる教育活動は、まさに小規模校だからこそできることだと思います。義務教育終了時にそのような生徒に育て上げ、卒業させられるよう、本校の教育目標「よく学び 創造する生徒」「進んで協力し 思いやりのある生徒」「健康でたくましい生徒」の育成と明日も行きたくなる居心地の良い学校を目指し、教職員一丸となり、日々の教育活動に取り組んで参ります。保護者、地域の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、先日の始業式ではそれぞれに進級した2・3年生に「新しい学年で自分の良さやもっている力を伸ばし、充実したよき1年間にしてください」とお話ししました。また、3年生には「南大沢中のリーダー学年として下級生をぐいぐい引っ張り、学校全体を盛り上げてほしい」こと、2年生には「後輩ができますから、よき手本となり、尊敬される先輩になれるよう意識して行動してください」とお話ししました。そして、その後の入学式では、まさに先輩として素晴らしい態度での参列が見られました。話すと響く南中生、これからの南大沢中の1年間がとても楽しみです。

入学式校長式辞(抜粋)

春の麗らかな日差しとともに、今、三十五名の南中生が新たに誕生しました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新しい仲間を心から歓迎します。

新入生の皆さん、今、皆さんはどんな思いでその席に座っていますか。新しい仲間と新しい生活に、ワクワクする気持ちと、うまくやっていけるか不安な気持ちが、入り交じっていると思います。でも安心してください。南大沢中の先生方や上級生は、優しく、皆さんを、導いてくれます。最初とはまどうこともあるかもしれませんが、必ず、中学校生活を楽しめるようになるはずです。

さて、今回私は、みなさんに、石の話をしたいと思います。世界一硬い石は何だか知っていますか？答えは、ダイヤモンドです。とても美しい石です。しかし、ダイヤモンドは原石を磨かないと美しく輝きません。では、世界一硬いのになんかどうやって磨くのでしょうか。それは、同じダイヤモンド同士で磨くのだそうです。私は、みなさん一人ひとりがダイヤモンドの原石だと思っています。そうです。磨けばいくらでも光り輝く可能性を秘めています。では、みなさんを磨くのは何でしょうか？それは、友だちを含めた、周りのすべての人たちです。

人は人によって、磨かれるものなのです。何でも結構です。自分が打ち込める何かを見つけ、本気で取り組んでください。そうすれば、自然と自分を理解してくれる友達や周りの人によって、自分を磨くことができるでしょう。人を磨き、人から磨かれ光り輝く立派な人へと成長できる、素晴らしい中学校生活を過ごしてほしいと願っています。

